

No	XPath	値	多重度	選択性
		定。		
13.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
14.	code	入院年月日	0..1	R
14.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.PastAdmission.AdmissionDate」	1..1	M
14.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
14.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
15.	effectiveTime	入院年月日の値	1..1	M
15.1.	@value	[YYYYMMDD] 例: 20091101	1..1	M
16.	entryRelationship		0.4	R
17.	observation	病棟区分	1..1	M
17.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
17.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
18.	code	病棟区分コード	1..1	M
18.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Ward.Category.Code」	1..1	M
18.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
18.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
19.	value	病棟区分コードの値	1..1	M
19.1.	@type	「CV」	1..1	M
19.2.	@value	別表8より規定のコードを設定する。 例: 02	1..1	M
20.	entry		0.5	R
21.	observation	レセプト特記事項	1..1	M
21.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
21.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
22.	code	レセプト特記事項コード	1..1	M
22.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Receipt.NoteCategory.Code」	1..1	M
22.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
22.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
23.	value	レセプト特記事項コードの値	1..1	M
23.1.	@type	「CV」	1..1	M
23.2.	@value	別表10より規定のコードを設定する。 例: 03	1..1	M
24.	entry		0..1	O
25.	observation	カルテ番号、もしくは患者 ID 番号	1..1	M
25.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
25.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
26.	code	カルテ番号等	0..1	R
26.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalRecord.ID」	1..1	M
26.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
26.3.	@codeSystemname	コード体系「JMIX」	0..1	O
27.	value	カルテ番号等の値	1..1	M
27.1.	@type	「ST」	1..1	M
27.2.	@value	例: 199674738	1..1	M
28.	entry		0..1	R
29.	observation	割引点数単価	1..1	M
29.1.	@classCode	HL7 ポキヤブラリドメイン ActGlaas の「OBS」を指定。	1..1	M
29.2.	@moodCode	HL7 ポキヤブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
30.	code	割引点数単価	1..1	M
30.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.Receipt.DiscountedPricePoints」	1..1	M
30.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180150」	1..1	M
30.3.	@codeSystemname	コード体系「JMIX」	0..1	O
31.	value	割引点数単価の値	1..1	M
31.1.	@type	「MO」	1..1	M
31.2.	@value	例: 6	1..1	M
32.	entry		1..1	M
33.	observation	臓器提供区分	1..1	M
33.1.	@classCode	HL7 ポキヤブラリドメイン ActGlaas の「OBS」を指定。	1..1	M
33.2.	@moodCode	HL7 ポキヤブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
34.	code	臓器提供区分のコード	1..1	M
34.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonationCategory.Code」	1..1	M
34.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180140」	1..1	M
34.3.	@codeSystemname	コード体系「JMIX」	0..1	O
35.	value	臓器提供区分コードの値	1..1	M
35.1.	@type	「CV」	1..1	M
35.2.	@value	別表24より規定のコードを設定。 例: 2	1..1	M

4.2.7.3 臓器提供者請求レコードセクション

当該セクションでは、臓器提供者請求レコードに含まれる情報を記載する。表 4-42 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 4-43 に臓器提供者請求レコードセクションとその XML 仕様について示す。

表 4-42 臓器提供者請求レコードセクションに含まれる情報項目

1) 臓器提供者請求レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
診療実日数	OrganDonor.MedicalCare.Days	1.2.392.200119.10.180160	別表26
合計点数	OrganDonor.MedicalCare.Points	1.2.392.200119.10.180160	別表5
食事療養・生活療養回数	OrganDonor.MedicalCare.TimesOfMeal	1.2.392.200119.10.180160	別表5
食事療養・生活療養合計金額	OrganDonor.MedicalCare.Amount	1.2.392.200119.10.180160	別表8

表 4-43 臓器提供者請求レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
2.	code	セクションコード(臓器提供請求レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.Claim」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「臓器提供請求レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供請求レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	診療実日数	1..1	M
5.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
5.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
6.	code	診療実日数のコード	1..1	M
6.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalCare.Days」	1..1	M
6.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
6.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
7.	value	診療実日数の値。	1..1	M
7.1.	@type	「PQ」	1..1	M
7.2.	@value	例:30	1..1	M
7.3.	@unit	「d」	1..1	M
8.	entry		1..1	M
9.	observation	合計点数	1..1	M
9.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
9.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
10.	code	合計点数のコード	1..1	M
10.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.TotalPoints」	1..1	M
10.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
10.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
11.	value	合計点数の値。	1..1	M
11.1.	@type	「PQ」	1..1	M
11.2.	@value	例:3000	1..1	M
12.	entry		0..1	R
13.	observation	食事療養・生活療養回数	1..1	M
13.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
13.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
14.	code	食事療養・生活療養回数のコード	1..1	M
14.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalCare.TimesOfMeal」	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
14.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
14.3.	@codeSystemname	コード体系「JMIX」	0..1	O
15.	value	食事療養・生活療養回数	1..1	M
15.1.	@type	「QTY」	1..1	M
15.2.	@value	例: 20	1..1	M
16.	entry		0..1	R
17.	observation	食事療養・生活療養合計金額	1..1	M
17.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass の「OBS」を指定。	1..1	M
17.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
18.	code	食事療養・生活療養合計金額のコード	1..1	M
18.1.	@code	コードのニーモニック 「OrganDonor.MedicalTreatment.TotalAmount」	1..1	M
18.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180160」	1..1	M
18.3.	@codeSystemname	コード体系「JMIX」	0..1	O
19.	value	食事療養・生活療養合計金額	1..1	M
19.1.	@type	「MO」	1..1	M
19.2.	@value	例: 3000	1..1	M
19.3.	@unit	「yen」	0..1	R

4.2.7.4 臓器提供者傷病名情報セクション

当該セクションは臓器提供者の傷病名情報の情報について記載する。これは 4.2.4 節の「傷病名情報セクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 4-44 のようになり、以降は同様である。

表 4-44 傷病名情報セクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/compone nt/section		1..*	M
2.	code	セクションコード(傷病名情報)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime Insured.Disease」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名「傷病名情報」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者傷病名情報」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	傷病名コード情報	0	M
	<<以降、続く>>			

4.2.7.5 臓器提供者摘要情報

以下のセクションで構成する。

- 4.2.7.5.1 臓器提供者診療行為レコードセクション
- 4.2.7.5.2 臓器提供者医薬品レコードセクション
- 4.2.7.5.3 臓器提供者特定器材レコードセクション
- 4.2.7.5.4 臓器提供者コメントレコードセクション

4.2.7.5.1 臓器提供者診療行為レコードセクション

当該セクションは臓器提供者の診療行為レコードについて記載する。これは 4.2.5.1 節の「診療行為レコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 4-45 のようになり、以降は同様である。

表 4-45 臓器提供者診療行為レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/section/component/section		1..*	M
2.	code	セクションコード(診療行為レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「MedicalTreatment」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「診療行為レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者診療行為レコード」	1..1	M
4.	entry		0..1	R
5.	act	診療識別情報	1..1	M
	《以降、続く》			

4.2.7.5.2 臓器提供者医薬品レコードセクション

当該セクションは臓器提供者の医薬品レコードについて記載する。これは 4.2.5.2 節の「医薬品レコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 4-46 のようになり、以降は同様である。

表 4-46 臓器提供者医薬品レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/section/component/section		0..*	R
2.	code	セクションコード(医薬品レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「MedicationDrug」	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「医薬品レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者医薬品レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	act	診療識別	1..1	M
	《以降、続く》			

4.2.7.5.3 臓器提供者特定器材レコードセクション

当該セクションは臓器提供者の特定器材レコードの情報について記載する。これは 4.2.5.3 節の「特定器材レコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 4-47 のようになり、以降は同様である。

表 4-47 臓器提供者特定器材レコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section/component/section		0..*	R
2.	code	セクションコード(特定器材レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「SpecificMedicalMaterials」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「特定器材レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者特定器材レコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	act		1..1	M
5.1.	《以降、続く》			
5.2.				

4.2.7.5.4 臓器提供者コメントレコードセクション

当該セクションは臓器提供者のコメントレコードの情報について記載する。これは 4.2.5.4 節の「コメントレコードセクション」に含まれる項目が同じである。XML 仕様については、XPath の 1 行目が表 4-48 のようになり、以降は同様である。

表 4-48 臓器提供者コメントレコードセクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component		0..*	R

No	XPath	値	多重度	選択性
	/structuredBody/component/section/component/section/component/section			
2.	code	セクションコード(コメントレコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「Note」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「コメントレコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者コメントレコード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	act	診療識別	1..1	M
	《以降、続く》			

4.2.7.6 臓器提供者症状詳記情報セクション

当該セクションは臓器提供者の症状詳記の情報について記載する。これは4.2.6節の「症状詳記情報セクション」に含まれる項目が同じである。XML仕様については、XPathの1行目が表4-49のようになり、以降は同様である。

表 4-49 臓器提供者症状詳記情報セクションクラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section/component/section		1..*	M
2.	code	セクションコード(症状詳記情報)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「SymptomDetailedRecord」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「症状詳記情報」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「臓器提供者症状詳記情報」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	症状詳記区分	1..1	M
	《以降、続く》			

5.電子化形式仕様の詳細 2：診療報酬請求書

この情報は、診療報酬請求の仕組みでは、請求する医療機関における請求の総計情報が対象になる。この点で、前述している前述の仕様では表現ができないため、枠組みを別にして仕様を記述する。なお、4章に記載してい

る CDA を適用する上での諸条件は同じとする。

5.1 CDA 共通項目 (ヘッダ部)

5.1.1 文書情報 (ClinicalDocument)

診療文書 (ClinicalDocument) は、XML の開始部に使用される文書のヘッダ情報であり、XML コードの最初の属性である。

本報告書で定義される XML インスタンスの名前空間は「**urn:hl7-org:v3**」とする。名前空間宣言は、その名前空間が始めて使用される要素、または、それより上位に存在する要素で宣言する必要がある。そのため、この名前空間の宣言は、XML のルート要素で行う必要がある。名前空間を識別するための接頭辞は任意のものを指定可能である。また、本報告書で定義される XML インスタンスでは、

「**http://www.w3.org/2001/XMLSchemainstance**」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。その名前空間には、「**xsi**」という接頭辞が指定される。そのため、この XML インスタンス内で、XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する箇所もしくはその上位の要素内で、名前空間宣言を行う必要がある。例を以下に示す。

【例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:voc="urn:hl7-org:v3/voc"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 CDA.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id extension="NI" root="2.16.840.1.113883.19.4" />
  <code code="Claim.Total.SYS" codeSystem="1.2.392.200119.10.18000"
    codeSystemName=JMIX displayName="診療報酬請求書" />
  <title>診療報酬請求書</title>
  <effectiveTime value="201005171800" />
  <confidentialityCode code="N" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.25" />
  <languageCode code="ja-JP" />
  <versionNumber value="200910" />
```

5.1.2 診療報酬請求書情報

レセプト電算処理システム請求ファイルの診療報酬請求書情報に含まれる情報項目と HL7CDA に準拠する上で必要な情報を ClinicalDocument に表す。表 5-1 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。ClinicalDocumen クラスとその XML 仕様についてを表 5-2 に示す。

表 5-1 ヘッダ部の診療報酬請求書情報と CDA 管理情報

1) 医療機関情報レコード

項目	コード	コード体系	備考
請求年月	Claim.YearMonth	1.2.392.200119.10.180020	別表5

2) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
記録条件仕様年月情報	Receipt.Secifications.PublishedDate	1.2.392.200119.10.180030	別表5

表 5-2 ClinicalDocument クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument		1..1	M
1.	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。	1..1	M
1.1.	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。	1..1	M
1.2.	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。	1..1	M
2.	id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。	1..1	M
2.1.	@nullFlavor	HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。未使用とし nul 値を意味する「NI」を設定。	1..1	M
3.	code	生成されたファイルの種別コード	1..1	M
3.1.	@code	「Claim.Total.SYS」	1..1	M
3.2.	@codeSystem	コード体系の OID 「1.2.392.200119.10.18000」	1..1	M
3.3.	@displayName	コードの表示名 「診療報酬請求書情報」	0..1	O
4.	title	文書タイトル	1..1	M
4.1.	text()	例:「診療報酬請求書」	1..1	M
5.	effectiveTime	報告年月日 オンライン診療報酬請求ファイルで請求した年月を設定する。請求年月	1..1	M
5.1.	@value	[YYYYMM] 例: 200405	1..1	M
6.	confidentialityCode	文書の守秘レベル。	1..1	M
6.1.	@code	HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality より「N」を設定。 ※通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
6.2.	@codeSystem	「2.16.840.1.113883.5.25」	1..1	M
7.	versionNumber	文書のバージョン。当該オンライン診療報酬請求の仕様公開された年月を記載する。 記録条件仕様年月情報	0..1	R
7.1.	@value	[YYYYMM の整数として扱う。6 桁。] 例: 200910	0..1	R
8.	recordTarget	当該請求レセプトの請求医療機関情報情報	1..1	M
9.	author	記載者情報(当該請求医療機関情報)	1..1	M
10.	custodian	請求ファイル管理責任情報	1..1	M
11.	informationRecipient	審査支払機関情報	1..1	M
12.	documentationOf	診療年月	1..1	M
13.	consent	検索番号		
14.	component	<以下、構造化ボディ部分に続く>		
	structuredBody	構造化ボディ		
	component			

5.1.3 請求医療機関情報 (RecordTarget)

診療報酬請求をおこなう医療機関情報を RecordTarget で表す。本来「RecordTarget」クラスは、“患者”を対象としたクラスである。しかし、「診療報酬請求書情報」には患者を個別に指定する情報は存在しな

く、含まれる各情報の対象は医療機関であることから、“患者”を“請求医療機関”とみなし、当該「RecordTarget」クラスを使用した。

表 5-3 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 5-4 に示す。

表 5-3 請求医療機関情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
医療機関コード	Claim.Provider.Code	1.2.392.200119.10.180020	

表 5-4 RecordTarget クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
2.	recordTarget	請求医療機関情報	1..1	M
3.	patientRole	請求医療機関情報	1..1	M
4.	id	請求医療機関情報のコード	1..1	M
4.1.	@extension	請求医療機関情報コードを設定。 例: 140000032983	1..1	M
4.2.	@root	医療機関情報コード発行機関の OID。 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M

5.1.4 診療報酬請求作成者情報 (Author)

診療報酬請求書情報作成者を Author で表す。ここでは作成者を請求元の医療機関とみなし、診療報酬請求を行う医療機関情報を記載する。表 5-5 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 5-6 に示す。

表 5-5 診療報酬請求作成者情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	JMIXコード	コード体系	備考
都道府県	Claim.Provider.Address.PrefecturePart.Code	1.2.392.200119.10.180020	別表2
医療機関コード	Claim.Provider.Code	1.2.392.200119.10.180020	
医療機関名称	Claim.Provider.Name	1.2.392.200119.10.180020	
電話番号	Claim.Provider.PhoneNumber	1.2.392.200119.10.180020	

表 5-6 Author クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/author		1..1	M
1.1.	time	請求書ファイルの実作成日	1..1	M
1.2.	@value	[YYYYMMDD] 例: 20070119	1..1	M
2.	assignedAuthor	診療報酬請求作成者情報	1..1	M
3.	id	請求医療機関での作成者ID	1..1	M
3.1.	@nullFlavor	「NI」 HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
4.	representedOrganization	医療機関情報	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
5.	id	医療機関の識別子、医療機関コード 今回の場合「RecordTarget」クラスに設定されている id と同じになる、	1..1	M
5.1.	@extention	医療機関コード 例: 140000032983	1..1	M
5.2.	@root	医療機関コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
6.	name	医療機関名称	1..1	M
6.1.	text()	例: 東京病院	1..1	M
7.	telecom	医療機関電話番号	0..1	O
7.1.	@use	HL7 表 20 より、「WP」を固定。	1..1	M
7.2.	@value	電話番号文字列。 例: 'tel:(03)3344-5566' 'tel:' の部分は固定の書き方。 HL7 表 18 より、「tel」を固定。	1..1	M
8.	addr	医療機関所在地	1..1	M
8.1.	@use	HL7 表 24 より、「WP」を固定。	1..1	M
9.	state	医療機関等道府県名(指定されているコードを設定)	1..1	M
9.1.	@type	「CV」	1..1	M
9.2.	@value	規定されているコードより設定。 例: 13	1..1	M

5.1.5 診療報酬請求ファイル管理責任機関情報 (Custodian)

該当する診療報酬請求ファイル管理責任機関情報を表す。表 5-7 に Custodian クラスと XML 仕様について示す。CDA 上必要な要素であるため記載が必要だが、実際の情報は設定しない。

表 5-7 Custodian クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/custodian	診療報酬請求ファイル管理責任機関	1..1	M
2.	assignedCustodian		1..1	M
3.	representedCustodianOrganization		1..1	M
4.	id	診療報酬請求ファイル管理責任機関の識別子	1..1	M
4.1.	@ nullFlavor	「NI」 HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
5.	name	診療報酬請求ファイル管理責任.医療機関.名称(使用しない)	0..1	O
5.1.	text()	医療機関.名称	0..1	O

5.1.6 審査支払機関情報 (informationRecipient)

審査支払機関情報を informationRecipient で表す。表 5-8 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 5-9 に示す。

表 5-8 審査支払機関情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	コード	コード体系	備考
----	-----	-------	----

審査支払機関	MedicalFeePaymentFund.Code	1.2.392.200119.10.180020	別表1
--------	----------------------------	--------------------------	-----

表 5-9 informationRecipient クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/ informationRecipient	審査支払機関	1..1	M
2.	id	審査支払機関区分	1..1	M
2.1.	@extention	審査支払機関区分コード。 別表 1 に規定されているコードを設定。 例: 1	1..1	M
2.2.	@root	審査支払機関コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
3.	receivedOrganization		0..1	O
4.	id	審査支払機関の識別子	0..1	O
4.1.	@extention	審査支払機関コード 例: 33300003333	0..1	O
4.2.	@root	審査支払機関コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	0..1	O
5.	name	審査支払機関名称	0..1	O
5.1.	text()	例: 社会保険診療報酬支払基金	0..1	O

5.1.7 診療年月情報 (ServiceEvent)

診療報酬請求ファイルの対象になっている診療実施年月の情報を記載する。表 5-10 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 5-11 に ServiceEvent クラスと XML 仕様について示す。

表 5-10 診療年月情報に含まれる情報項目

1) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
診療年月	Receipt.Visit.YearMonth	1.2.392.200119.10.180030	別表5

表 5-11 ServiceEvent クラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/documentationOf		1..1	M
2.	serviceEvent	診療年月情報	1..1	M
3.	code	診療年月コード	1..1	M
3.1.	@code	診療年月コードのニーモニック 「Receipt.Visit.YearMonth」	1..1	M
3.2.	@codeSystem	コードのコード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180030」	1..1	M
3.3.	@codeSystemNam	コード体系 「JMIX」	0..1	O
3.4.	@displayName	「診療年月」	0..1	O
4.	effectiveTime	診療年月	1..1	M
4.1.	@value	診療年月に該当する文字列。 書式は「YYYYMM」。	1..1	M

5.1.8 検索番号情報 (consent)

審査支払基金からの返礼、再請求時に請求ファイルに記載する検索番号の情報を記載する。表 5-12 に示す

レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 5-13 に consent クラスと XML 仕様について示す。

表 5-12 検索番号情報に含まれる情報項目

1) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
検索番号	Receipt.SearchNumber	1.2.392.200119.10.180030	

表 5-13 consent クラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/ authorization		0..1	R
2.	consent	検索番号情報	1..1	M
3.	id	検索番号	1..1	M
3.1.	@extention	検索番号を設定する。 例: 47474747737345234	1..1	M
3.2.	@root	検索番号発行機関コード体系 OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
4.	code	検索番号情報コード	1..1	M
4.1.	@code	検索番号情報コードのニーモニック 「Receipt.SearchNumber」	1..1	M
4.2.	@codeSystem	コードのコード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180030」	1..1	M
4.3.	@codeSystemName	コード体系 「JMIX」	0..1	O
4.4.	@displayName	「検索番号」	0..1	O
5.	statusCode		1..1	M
5.1.	@value	「completed」を設定。	1..1	M

5.2 CDA ボディ部

本ボディ部は以下のように構成される。

5.2.1 点数表情報セクション

5.2.2 診療報酬請求書レコードセクション

5.2.1 点数表情報セクション

医療機関が使用するレセプトの点数表種類について記載する。表 5-14 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。本文書では、表 5-15 に点数表情報の XML 様式について示す。

表 5-14 点数表情報セクションに含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
点数表	Claim.Provider.PointTable.Code	1.2.392.200119.10.180020	

表 5-15 点数表情報セクションクラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
----	-------	---	-----	-----

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section		1..1	M
2.	code	セクションコード(点数表情報)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「Claim.Provider.PointTable.Code」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180020」	1..1	M
2.3.	@displayName	コードの表示名 「点数表コード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text()	「点数表コード」	1..1	M
4.	entry		1..1	M
5.	observation	点数表の区分	1..1	M
5.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を 指定。	1..1	M
5.2.	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を 指定。	1..1	M
6.	id	点数表の区分の値	1..1	M
6.1.	@extention	別表3に規定されている表の区分コードを設定する。 医科のコード「1」を指定。	1..1	M
6.2.	@root	例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M

5.2.2 診療報酬請求書レコードセクション

当該セクションは診療報酬請求書レコードについて記載する。表 5-16 に示すレセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。表 5-17 に診療報酬請求書レコードセクションとその XML 仕様について示す。

表 5-16 診療報酬請求書レコードセクションに含まれる情報項目

1) 診療報酬請求書レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
総件数	Claim.TotalNumber	1.2.392.200119.10.180170	
総合計点数	Claim.TotalPoints	1.2.392.200119.10.180170	

表 5-17 診療報酬請求書レコードセクションクラスのXML仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/component /structuredBody/component/section		1..1	M
2.	code	セクションコード(診療報酬請求書レコード)	1..1	M
2.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime」	1..1	M
2.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180000」	1..1	M
2.3.	@codeSystemname	コード体系例: JMIX	0..1	O
2.4.	@displayName	コードの表示名 「診療報酬請求書レコード」	0..1	O
3.	title	セクションタイトル	0..1	O
3.1.	text ()	「診療報酬請求書レコード」	1..1	M
4.	entry		0..1	R
5.	observation	総件数	1..1	M
5.1.	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指	1..1	M

No	XPath	値	多重度	選択性
		定。		
5.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
6.	code	総件数	1..1	M
6.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime.TotalNumber」	1..1	M
6.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180170」	1..1	M
6.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」	0..1	O
7.	value	総件数の値	1..1	M
7.1.	@type	「PQ」	1..1	M
7.2.	@value	例: 5500	1..1	M
8.	entry		0..1	R
9.	observation	総合計点数	1..1	M
9.1.	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClaas の「OBS」を指定。	1..1	M
9.2.	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood の「EVN」を指定。	1..1	M
10.	code	総合計点数	1..1	M
10.1.	@code	コードのニーモニック 「Claime.TotalPoints」	1..1	M
10.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「1.2.392.200119.10.180170」	1..1	M
10.3.	@codeSystemname	コード体系 「JMIX」		
11.	value	総合計点数の値	1..1	M
11.1.	@type	「PQ」	1..1	M
11.2.	@value	例: 800010000	1..1	M

6.電子化形式仕様の詳細 3 : 診療報酬明細書 (DPC 用)

6.1 CDA 共通項目 (ヘッダ部)

6.1.1 文書情報 (ClinicalDocument)

診療文書 (ClinicalDocument) は、XML の開始部に使用される文書のヘッダ情報であり、XML コードの最初の属性である。

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn:hl7-org:v3」とする。名前空間宣言は、その名前空間が初めて使用される要素、または、それより上位に存在する要素で宣言する必要がある。そのため、この名前空間の宣言は、XML のルート要素で行う必要がある。名前空間を識別するための接頭辞は任意のものを指定可能である。また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、

「<http://www.w3.org/2001/XMLSchemainstance>」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。その名前空間には、「xsi」という接頭辞が指定される。そのため、この XML インスタンス内で、XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する箇所もしくはその上位の要素内で、名前空間宣言を行う必要がある。例を以下に示す。

またファイルの生成における文字コードは「UTF-8」とする。

【XML の最初の部分】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:voc="urn:hl7-org:v3/voc"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 CDA.xsd">
```

※ ここまでの各設定内容は固定とする。これ以降は、表 6-2 に記載した仕様を例示した XML の記載になる。

```
<typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
<id extension="1" root="1.2.392.200119.90.XXXXX" />
<code code="DPC.Claim.SYS" codeSystem="1.2.392.200119.10.18000"
  codeSystemName="JMIX" displayName="D P C レセプト電算請求情報" />
<title>1RECEIPTD.UKE </title>
<effectiveTime value="200405171800" />
<confidentialityCode code="N" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.25" />
<languageCode code="ja-JP" />
<versionNumber value="200910" />
```

6.1.2 請求管理情報とヘッダ部の CDA 管理情報

D P C 用の診療報酬請求ファイルの請求管理情報と HL7CDA に準拠する上で必要な情報を ClinicalDocument に表す。表 6-1 に示される D P C レセプト電算処理システム請求ファイルにある項目を含む。とその XML 仕様についてを表 6-2 に示す。

表 6-1 請求管理情報に含まれる情報項目

1) 医療機関情報レコード

項目	コード	コード体系	備考
請求年月	Claim.YearMonth	1.2.392.200119.10.180020	別表5

2) レセプト共通レコード

項目	J-MIXコード	コード体系	備考
レセプト番号	Receipt.Number	1.2.392.200119.10.180030	
記録条件仕様年月情報	Receipt.Secifications.PublishedDate	1.2.392.200119.10.180030	別表5

表 6-2 ClinicalDocument クラスの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument		1..1	M
8.	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。	1..1	M
8.1.	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。	1..1	M
8.2.	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる	1..1	M

		「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。		
8.3.	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。	1..1	M
9.	id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。 レセプト番号。	1..1	M
9.1.	@extension	レセプト番号を設定。例: 1	1..1	M
9.2.	@root	レセプト番号の発行医療機関 OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
10.	code	生成されたファイルの種別コード	1..1	M
10.1.	@code	例: DPC.Claim.SYS	1..1	M
10.2.	@codeSystem	コード体系の OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
10.3.	@displayName	コードの表示名 例: DPC レセプト電算請求情報	0..1	O
11.	title	文書タイトル	1..1	M
11.1.	text()	例: 「レセプト番号」+「RECEIPTD.UKE」 1RECEIPTD.UKE	1..1	M
12.	effectiveTime	報告年月日 オンライン診療報酬請求ファイルで請求した年月を設定する。請求年月。	1..1	M
12.1.	@value	[YYYYMM] 例: 200405	1..1	M
13.	confidentialityCode	文書の守秘レベル。	1..1	M
13.1.	@code	HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality より「N」を設定。 ※通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
13.2.	@codeSystem	「2.16.840.1.113883.5.25」を固定。	1..1	M
14.	versionNumber	文書のバージョン。当該オンライン診療報酬請求の様公開された年月を記載する。 記録条件仕様年月情報	0..1	R
14.1.	@type	「INT」		
14.2.	@value	[YYYYMM の整数として扱う。6 桁。] 例: 200910	0..1	R
20.	recordTarget	当該請求レセプトの患者情報	1..1	M
21.	author	記載者情報	1..1	M
22.	custodian	請求ファイル管理責任情報	1..1	M
23.	informationRecipient	審査支払機関情報	1..1	M
24.	documentationOf	診療年月	1..1	M
25.	consent	検索番号		
26.	component	<以下、構造化ボディ部分に続く> (構造化ボディ)		
	structuredBody			
	component			

6.1.3 レセプト患者情報 (RecordTarget)

レセプトの対象者である患者の情報を RecordTarget クラスで表す。表 6-3 に示す DPC レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。RecordTarget クラスの XML 仕様について表 6-4 に示す。

表 6-3 レセプト患者情報に含まれる情報項目

1) レセプト共通レコード

項目	JMIXコード	コード体系	備考
氏名	Patient.WholeName	1.2.392.200119.10.1010	
男女区分	Patient.Sex	1.2.392.200119.10.1010	別表7
生年月日	Patient.Birthday	1.2.392.200119.10.1010	別表5
病棟区分	Receipt.InPatient.Ward.Category.Code	1.2.392.200119.10.15010	別表8

項目	JMIXコード	コード体系	備考
カルテ番号患者ID番号等	MedicalRecord.Number	1.2.392.200119.10.4000	
	もしくは Patient.ID	1.2.392.200119.10.1010	
診療科コード	Insured.Department.Code	1.2.392.200119.10.3020	別表4

2) 保険者レコード

項目	JMIXコード	コード体系	備考
保険者番号	HealthInsurance.ID	1.2.392.200119.10.180040	
被保険者証(手帳)等の記号	HealthInsuredPerson.Symbol	1.2.392.200119.10.2010	
被保険者証(手帳)等の番号	HealthInsuredPerson.Number	1.2.392.200119.10.2010	
証明書番号	HealthInsurance.Reduction.CertificateNumber	1.2.392.200119.10.180040	

3) 公費レコード

項目	JMIXコード	コード体系	備考
公費負担医療負担者番号	PublicInsurer.Number	1.2.392.200119.10.2020	
公費負担医療受給者番号	PublicInsuredPerson.Number	1.2.392.200119.10.2020	
公費負担医療任意給付区分	PublicInsuredPerson.AnyBenefitsFlag	1.2.392.200119.10.180050	

表 6-4 RecordTarget クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
2.	patientRole	レセプト患者情報	1..1	M
3.	id	レセプト患者の患者 ID、もしくはカルテ番号	1..1	M
3.1.	@extension	患者 ID を設定。例:2318032983	1..1	M
3.2.	@root	患者 ID 発行機関の OID。 例:1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
4.	patient	患者個人情報	1..1	M
5.	name	患者氏名	1..1	M
6.	@use	漢字の場合は「IDE」を固定。英数の場合は「ABC」を固定。	1..1	M
7.	family	姓	1..1	M
7.1.	text()	例 東都	1..1	M
8.	given	名	1..1	M
8.1.	text()	例:花子	1..1	M
9.	administrativeGenderCode	患者性別	1..1	M
9.1.	@code	性別コード。別表7に規定されているコードを設定。 「男=“1”、女=“2”」 例:1	1..1	M
9.2.	@codeSystem	性別のコード体系 OID 例:1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
9.3.	@displayName	例:男	1..1	M
10.	birthTime	患者生年月日	1..1	M
10.1.	@value	[YYYYMMDD] 例: 20070924	1..1	M
11.	providerOrganization		1..1	M
12.	asOrganizationPartOf	病棟区分、診療科区分	1..1	M
13.	id	病棟区分を識別するコード	0..4	R
13.1.	@extension	病棟区分コード 例:01 (別表 8 に指定されている病棟区分コードを設定)	1..1	M
13.2.	@root	病棟区分コード体系コード OID。 例:1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
14.	code	HL7ボキャブラリドメインRoleCodeの該当するコード ※今回は使用しない。	—	—
14.1.	@code	HL7ボキャブラリドメインRoleCodeの該当するコードを設定する。例: PHU	—	—

No	XPath	値	多重度	選択性
14.2.	@codeSystem	コード体系 OID 「2.16.840.1.113883.5.25」	—	—
14.3.	@displayName	例:精神	—	—
15.	id	診療科を識別するコード	1..1	M
16.	@extention	診療科コード 別表4に指定されている診療科コードを設定。 例:01	1..1	M
17.	@root	診療科コード体系コード OID 例:1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
18.	id	被保険者証(手帳)等の 記号	0..1	R
18.1.	@extension	被保険者証(手帳)等の 記号を設定。 例:FF000032983	1..1	M
18.2.	@root	被保険者証(手帳)等の 記号発行機関の OID。 例:1.2.392.200119.6.204	1..1	M
19.	id	被保険者証(手帳)等の 番号	0..1	R
19.1.	@extension	被保険者証(手帳)等の 番号を設定。 例:FF000032983	1..1	M
19.2.	@root	被保険者証(手帳)等の 番号発行機関の OID。 例:1.2.392.200119.6.205	1..1	M
20.	id	証明書番号	0..1	R
20.1.	@extension	証明書番号を設定。例:FF000032983	1..1	M
20.2.	@root	証明書番号発行機関の OID。 例:1.2.392.200119.6.101	1..1	M
21.	providerOrganization	保険者情報	1..1	M
22.	id	保険者番号	1..1	M
22.1.	@extension	保険者番号を設定。例:8282822	1..1	M
22.2.	@root	保険者番号発行機関の OID。 例:1.2.392.200119.6.101	1..1	M
23.	id	公費負担医療受給者番号	0..4	R
23.1.	@extension	公 費 負 担 医 療 受 給 者 番 号 を 設 定 。 例 : 3 1 3 1 3 1 3	1..1	M
23.2.	@root	公 費 負 担 医 療 受 給 者 番 号 発 行 機 関 の O I D 。 例:1.2.392.200119.6.101	1..1	M
24.	providerOrganization	公費負担医療負担者	1..1	M
24.1.	id	公費負担医療負担者番号	1..1	M
24.2.	@extension	公費負担医療負担者番号を設定。例:8282822	1..1	M
24.3.	@root	公費負担医療負担者番号発行機関の OID。 例:1.2.392.200119.6.101	1..1	M
25.	id	公費負担医療任意給付区分	0..1	R
25.1.	@extension	公費負担医療任意給付区分を設定。例:1	1..1	M
25.2.	@root	公費負担医療任意給付区分の OID。 例:1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M

6.1.4 請求医療機関情報 (Author)

レセプトの請求のファイル情報作成者を Author で表す。表 6-5 に示す D P C レセプト電算処理システム請求ファイルの項目を含む。XML 仕様について表 6-6 に示す。

表 6-5 請求医療機関情報に含まれる情報項目

項目	JMIXコード	コード体系	備考
都道府県	Claim.Provider.Address.PrefecturePart.Code	1.2.392.200119.10.180020	別表2
医療機関コード	Claim.Provider.Code	1.2.392.200119.10.180020	

診療科コード	Claim.Provider.Department.Code	1.2.392.200119.10.180020	別表4
医療機関名称	Claim.Provider.Name	1.2.392.200119.10.180020	
電話番号	Claim.Provider.PhoneNumber	1.2.392.200119.10.180020	

1) 医療機関情報レコード

表 6-6 Author クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/author		1..1	M
2.	time	請求ファイルの実作成日	1..1	M
2.1.	@value	[YYYYMMDD] 例:20070119	1..1	M
3.	assignedAuthor	請求医療機関情報	1..1	M
4.	id	請求医療機関での作成者ID	1..1	M
4.1.	@nullFlavor	「NI」 HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
5.	representedOrganization	医療機関情報	1..1	M
6.	id	医療機関の識別子、医療機関コード	1..1	M
6.1.	@extention	医療機関コード	1..1	M
6.2.	@root	医療機関コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M
7.	name	医療機関名称	1..1	M
7.1.	text()	例: 東京病院	1..1	M
8.	telecom	医療機関電話番号	0..1	O
8.1.	@use	HL7 表 20 より、「WP」を固定。	1..1	M
8.2.	@value	電話番号文字列。 例: 'tel:(03)3344-5566' 'tel:' の部分は固定の書き方。 HL7 表 18 より、「tel」を固定。	1..1	M
9.	addr	医療機関所在地	1..1	M
9.1.	@use	HL7 表 24 より、「WP」を固定。	1..1	M
10.	state	医療機関都道府県名	1..1	M
10.1.	@type	「CV」固定	1..1	M
10.2.	@value	別表2に指定されているコードを設定 例: 13	1..1	M
11.	asOrganizationPartOf	診療科情報。 患者の個別診療科と同じ診療科になる。	0..1	R
12.	id	診療科の識別子、診療科コード	1..1	M
12.1.	@extention	診療科コード 例:01 別表4で指定されている診療科コードを設定。	1..1	M
12.2.	@root	診療科コード体系コード OID 例: 1.2.392.200119.90.XXXXX	1..1	M

6.1.5 診療報酬請求ファイル管理責任機関情報 (Custodian)

該当する診療報酬請求ファイル管理責任機関情報を表す。表 6-7 に Custodian クラスと XML 仕様について示す。CDA 上必要な要素であるが、今回の定義では実際の情報は設定しない。

表 6-7 Custodian クラスの XML 仕様

No	XPath	値	多重度	選択性
1.	/ClinicalDocument/custodian	DPC診療報酬請求ファイル管理責任機関	1..1	M